

消防の現状・課題

- 人口減少にも関わらず消防需要は当面、低下しない。特に救急需要は高止り
- 通信指令施設、車両等の整備に高額な費用が必要
- 高度で専門的な知識が年々必要

国・県の動き

- 【国】 H18年「消防組織法一部改正」「消防広域化の指針」告示
H29年「消防の連携・協力の推進」通知
- 【県】 H31年「三重県消防広域化及び連携・協力に関する推進計画」策定

連携・協力

職員の身分処遇は現在のままで、消防事務の一部を共同、連携して実施する。

伊賀消防

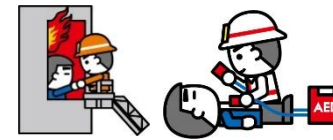
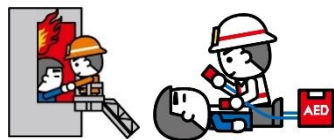
指令センター

名張消防

《指令共同運用》
令和6年4月1日～



《相互応援出動》
令和4年4月1日～



《予防業務連携》
令和4年4月1日～



効果

市民サービス面

- 通信指令施設の高機能化による災害対応力の強化
- 指令センターでの災害情報の集約化による素早い応援出動
- はしご車や化学車等の特殊車両の応援出動による災害の早期鎮圧
- 効果的な火災予防啓発

行政面

- 通信指令施設の共同整備によるイニシャル・ランニングコストの低減化
- 通信指令施設、車両等の整備費用に対する財政措置
- 指令員の効率的な配置による現場要員の増員
- 業務連携や共同の訓練、研修による職員のスキル向上